2020年トレンド予測

進学領域





高校生対象

スタディサプリ



スタディサプリ進路

高校生の進路選択をサポート



スタディサプリ学習

小・中・高校生・社会人向けの オンライン学習サービス





ステークホルダーへの情報発信

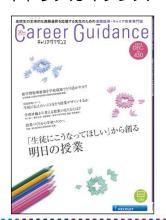
保護者対象

高校生の保護者のため のキャリアガイダンス



高校教員対象

キャリアガイダンス



大学経営層対象

カレッジマネジメント



社会人対象

大学の約束





ワクワクするモチベーションを大切にした進路選び

ワクモチ進路

学校の授業や学校外での「まなび」の機会をきっかけに、 自分のやりたいことを重視し、まなぶ環境を積極的に選択する生徒が増加する兆し

「ワクモチ進路」のポイント

- ①「まなび」の機会をきっかけに自ら動き出す
- ②同質化ではなく、**独自性**を重視し、**自分軸**を持っている
- ③学校の枠を超えた自主活動に積極的

これまで

一部の意識高い系、スポーツ選手など特定の高校生が多かった



これから「ワクモチ進路」

学校の授業や学校以外でのまなびでの経験がきっかけとなり、 出る杭は打たれる、ではなく出る杭をともに育み・伸ばす教育や進路選びがトレンドになってくる



背景:社会環境のVUCA化とキャリアの複線化



これまでの社会

単線型



Photo by Tom Barrett on Unsplash

これからの社会

Volatile

不安定性

複線型

Uncertain 不確実性

Complex 複雜性

Ambiguous 曖昧性

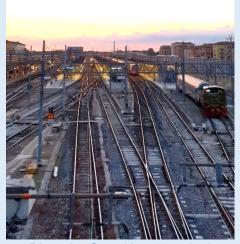


Photo by Onur K on Unsplash

「有名大学に入り、大企業に就職し、終身雇用のもとで働く」といった 『単一価値観の中での成功モデル』の行き詰まり

「2011年にアメリカの小学校に入学した子どもたちの65%は、 大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」

キャシー・デビットソン教授(ニューヨーク市立大学大学院センター)

背景: 高校生とその保護者世代の環境と必要な資質の変化



保護者の高校生時代

現在の高校生

資質 必要な 知識・技能の「習得」と「再生」
【情報処理力】

(早く効率的に答えを求める力)

知識・技能の「活用」

【情報編集力】

(思考力・判断力・表現力)

社会環境

共働き世帯※1

47.8% (1990年)

1.4倍 -----

67.0%

(2018年)

大学進学率

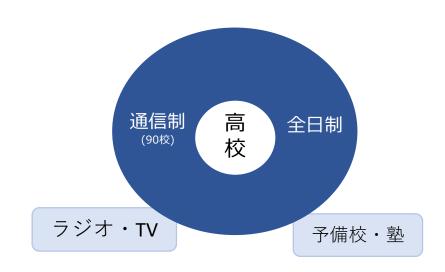
24.6%(1990年)

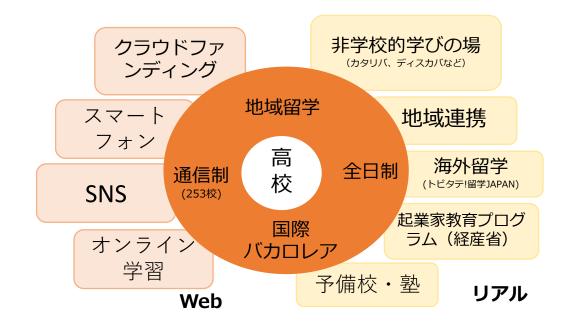
2.2倍 -----

53.7% (2019年)

※1 厚生労働省「厚生労働白書」

高等教育環境





変化の兆し:高校生の価値観変化「プロ突進タイプ」の増加

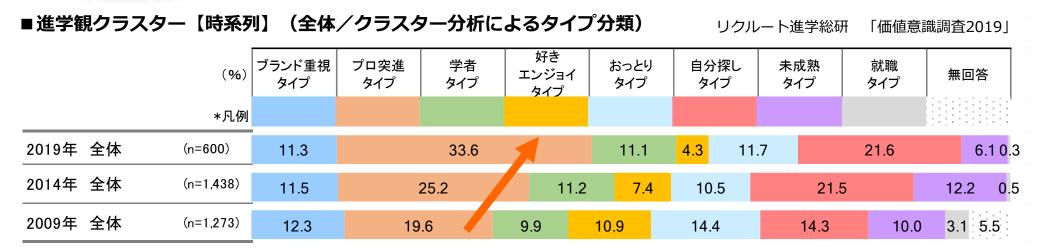


「プロ突進タイプ」は年々増加(2009年:19.6%→2014年:25.2%→ 2019年:33.6%)



プロ突進タイプなりたい自分へ一直線。自力で道を切り開きたい。

なりたい自分が明確。夢実現のための努力をいとわず、将来の成功を切望。 ネットワークも広く、志望業界で働く先輩からリアルな情報を手に入れるなど、 進路選びに対する情熱がある。



進学観クラスター8タイプ 将来や進学に関する質問をした結果、5つの因子反応から8タイプに分類

● 5 つの因子

[学生生活謳歌型因子] [まじめ勉強型因子] [地位上昇志向型因子] [夢・趣味を仕事に型因子] [ほどほど生活型因子] 「プロ突進タイプ」は、 地位上昇志向型因子、夢・趣味を仕事に型因子が特に高い

「ワクモチ進路」を選択した高校生の例①:地元以外の地域への進学



「地域の人や津和野に来た人をつなぎ、新しい価値観を知れるのが楽しい」

島根県立津和野高等学校(兵庫県出身) 高校2年生 池田詩織さん



高校との出会い・キッカケ

テレビ番組で知りました。**田舎生活への憧れもあり、"楽しそう!"と感じ**、中学校2年生の時、バスツアーで数校見学してここで学びたいと強く思いました。親の反対もあり悩みましたが、「**ヒトと違う選択をしてチャレンジしたい**」「津和野の街並みと教育カリキュラムで学びたい」と決心し、親からは英検®合格などいくつかのハードルを設けられましたが、無事クリアし、入学できました!

ワクワクが止まらない

津和野高校の生徒がなりたい自分を見つけるために、『アスギミック※1』という津和野町に視察へ来た方々などとの座談会を企画しています。多様なキャリア観を伺い、自分にない考えを学んだり、人をつなげる場の設計は楽しいです。「私は人とつながり、つなげていくことが好きなんだぁ」と感じます。**自ら動くことで、**自分を棚おろしでき、苦手なことが明確になることで**次のチャレンジにつながるのも嬉しいです。**

これから取り組みたいこと

取り組んでいることを、学内外に発信していくためのWebプラットフォームを作り、新しい価値観が生まれる場所を作りたい。資金調達はクラウドファンディングで集めようと考えており、この取り組みでマイプロジェクトAward(カタリバ主催)に挑戦したいです。活動を通して社会学に興味が湧いてきたので、卒業後の進路は学問軸で探したいです。

「ワクモチ進路」を選択した高校生の例②:通信制高校への進学



「やりたい気持ちがあれば、いくらでもキッカケはある」



N高等学校(神奈川県出身) 高校2年生 櫻井竹琉(たける) さん

高校との出会い・キッカケ

SNSで見つけた高校がN高校でした。通信制高校は調べていたけどN校は知らなかった。他の通信制とは違い、「新しいことにチャレンジできるかも!」とワクワクした気持ちが湧きだして、即断しました。周囲は誰も進学してない、新しい学校・珍しい選択であることに期待もありました。時間がフレキシブルなので、「やりたいことを探す時間に使いたい」と思って入学しました。

ワクワクが止まらない

目の不自由な人と一緒に楽しむeスポーツ(ブラインドeスポーツ)というテーマのプロジェクト活動をしています。平日も時間が自由に使えるので、プロジェクト支援してほしい関連会社や先生へのアポもとれるし、プロジェクトを自ら設計している感覚が楽しい。今が「一番充実感がある」「毎日楽しい!」と断言できます。幼少期を知る先生からは「やりたいで動ける高校生活が送れているな」と、僕にとって最高のほめ言葉をもらいました。

これから取り組みたいこと

将来につながるようなプロジェクトに、今の取り組みを昇華していきたい。 N校は、多様な価値観を持つ在校生や濃い担任のフォロー、**充実した課外プログラム環境 があり、刺激にあふれ、世界を広げられます。**自分の強みをプロジェクトを通して磨き、**卒 業後は、大学進学を目指しています。**



探究モードが加速し、特色あるカリキュラムで出る杭をサポートする高校が増えている

■地域みらい留学(地元外進学)

公立高校進学における、新たな選択肢として、都道府県の枠を越え、北海道から沖縄まで各地域にある魅力的な学校がそこでしかできない体験と新しいチャレンジを提供している(2019年10月時点55校)。

例)

島根県立津和野高校「T-PLAN」 島根県立隠岐島前高校「魅力化プロジェクト」 そこにしかない魅力ある環境体験と教育内 容でグローカル人材を育成。公営の英語塾 との連携など、ならではの教育コンテンツ



■特色ある全日制高校

「探究学習」が取り入れられたことで、 公立私立問わず**独自に開発した**教育内容の 多様化が加速している。

例)

国際バカロレア導入校

- ・札幌市立開成中等教育学校
- · 東京都立国際高校
- ・山梨県立甲府西高等学校



■通信制高校の進化

過去10年で、学校数+48校(253校) 生徒数+1.4万人(20万人)のまなぶ場と なり、通信制×ネットの個別最適なまなび で情熱を生む通信制高校が進化している。 (全日制高校:学校数▲296校、生徒数▲15万人)

例)

N高校

「好きなことを好きなだけ学ぼう」のもと 単位認定授業のほか、プロフェッショナル による「アドバンスプログラム」などさま ざまな経験を得る機会を提供。

(入学者数:2016年:1,482名→2019年:4,004名)





学校でまなぶこと以外に、個性を活かせる学校の枠を超えたまなびの場が増えている

■ NPO法人カタリバ 「マイプロジェクト」

高校生がプロジェクトを立ち上げ実行することを通じて学ぶ「課題解決型学習 (PBL)」を提供している。

年に一度「マイプロジェクトアワード (文部科学省後援)」を開催。6回目となる 2018年は、562プロジェクト、**2,717名の 高校生**が参加。



■ディスカバ! U17 university

桜美林大学が運営する、高校生のキャリア支援を目的としたプロジェクト。 これから社会で必要な体験や出会い、新しい自分を見つけるまなびの場を提供。 年間約30本のプログラムを開催し、 のべ10,000人近い高校生が参加。





■高校生向けの起業家教育 プログラム(経済産業省)

実践的な起業家教育プログラムを実施することにより、**起業家マインドを養う**ことを目的としたプログラムが経済産業省主催のもと2018年からスタート。初年度は4自治体、6高等学校が参加。

プレゼンテーション例) 金沢高等学校(石川県)

食品添加物の摂取量を「見える化」する食生活改善アプリ開発





SNSなどを活用した高校生をサポートする仕組み作り

クラウドファンディングで資金調達「CAMPFIRE」

「若さを理由に、夢を諦めてはいけない」をスローガンに、「CAMPFIRE YOUTH」を立ち上げ。

- ①年間9,000件プロジェクトのうち、10代起案プロジェクトは600件。
- ②高校・大学のオフィシャルサポーターが増えており、現在4校。(2019年12月時点)

₩ 鹿児島純心女子中学・高等学校







③TwitterなどのSNSのつながりでお金を集めることができるフレンドファンディングアプリ「polca*1」を開発。 身近な友人や知人、500円から集めることが可能で、やりたいことがある時、すぐにお金を集めることができる。

※1 CAMPFIREとは別サービス

高校生起案のプロジェクト事例

高校生と漁師の「空飛ぶカンパチプロジェクト」挑戦!高知県・須崎の誇りである絶品カンパチを

東京でお披露目したい!





女子高生の挑戦。屋根のない油津商店街アーケードを

カラフルな傘で彩りたい!



集まっている金額 1,035,000円 (目標 600,000円)

^{達成率} 支援者数 残り **172**% **105**人 終了しました



ワクワクするモチベーションを大切にした進路選び

ワクモチ進路

学校の授業や学校外での「まなび」の機会をきっかけに、 自分のやりたいことを重視し、まなぶ環境を積極的に選択する生徒が増加する兆し

「ワクモチ進路」のポイント

- ①「まなび」の機会をきっかけに自ら動き出す
- ②同質化ではなく、**独自性**を重視し、**自分軸**を持っている
- ③学校の枠を超えた自主活動に積極的

これまで

一部の意識高い系、スポーツ選手など特定の高校生が多かった



これから「ワクモチ進路」

学校の授業や学校以外でのまなびでの経験がきっかけとなり、 出る杭は打たれる、ではなく出る杭をともに育み・伸ばす教育や進路選びがトレンドになってくる

